

# わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田 2211

IP7オン 050-3344-8850 Tel (0880) 33-0247

Fax (0880) 33-0518

ホームページ⇒ <http://wakakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘



4.10 ボーイスカウト清掃奉仕  
4月10日四万十の日に  
四万十川で行われている結婚  
式の清掃活動をして、屋形船  
にも体験乗船しました。



## 新たなスタート！



春光うらかな季節を迎え、ますますご活躍のことと存じます。

新たな年度がスタート致しました。昨年度は3名の卒園生が無事高校を卒業、就職へとつながり、この春それぞれの地へ巣立っていきました。3名とも12～16年間という長い若草園生活でしたが、地域の皆様はもとより、関係機関の方々の御支援のおかげをもちまして希望に満ちた門出が出来ましたことを報告いたしますと共に深く感謝申し上げます。

また、在園生30名は新学期を迎え、元気に登校しております。特にピカピカのランドセル姿、真新しいちょっと大きめの学生服姿の子ども達を見ていると自然と笑顔がこぼれてきます。(新入学生：小学生1名、中学生3名、高校生3名)

本年度も、地域の子ども達も安全に安心して暮らせるよう児童家庭支援センターわかくさは、子育ての応援させていただきます。お気軽にご相談下さい。

退所児童等アフターケア事業も3年目を迎え、退所した子どもたちが地域で安定した生活、就労、進学等が送れるよう相談・支援を行って参ります。

法人としては16年間、理事長として法人運営に尽力され、子どもの一人ひとりの成長を見守って下さった小椋茂昭氏が定年のため退任されました。長期にわたり重責を担って頂きましたことも重ねて、感謝申し上げます。

新しく理事長に就任致しました平岡和好氏と共に役職員一同、子ども達の安全・安心な生活を提供できるよう精進して参ります。これからも皆様のご支援、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。



施設長 福留久美

### 育児相談窓口

児童家庭支援センター  
わかくさ

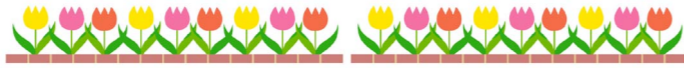
でんわ (0880)  
33-0258

24時間  
365日無料

# 平成28年度若草園

## 職員紹介

この1年間、この33人で子ども達の養育に取り組んで参ります。  
なお、法人役員につきましては次号にてご紹介いたします。



### Aホーム



山中亜理佐 横山智也 熊岡己貴

### Bホーム



瀧澤 勝 森田涼子 横山英里 石井希歩

### 調理



上岡稔子 茶畑一恵

### Cホーム



所谷 英 谷藤礼子 石橋美希 岩井 愛

### 平野ホーム（分園）



横山貴実子 尾崎久美子 新開 力

### 具同ホーム（地域小規模児童養護施設）



吉永直子 江口雅俊 久保里奈

### フリー



森田佳代 増田幸一 橋村きみこ 田中由美子  
主任・家庭相談 主任・個別対応 心理 平野・具同宿直応援

### ベビールーム



秋元志津 岩瀬みどり 有友沙希 前田チツル

### 児童家庭支援センター



小島かをり 野地ちえみ 岡崎光子  
アソシア

退所児童等アフターケア事業 **あおば**

児童養護施設、里親家庭などから自立した方の相談窓口はこちらです。

**TEL (090)5912-1785**  
(9:00-17:00) 相談員：岡崎

### 事務



福留久美 瀬戸雅弘 寺田知子  
施設長

### 3.2 ひな祭り

桃の節句、女の子たちは自分のお気に入りの着物を選びます。ひな人形も、振り袖も、古くから寄付された物を伝統的に使っています。



### 3.5 若草園卒園式

今年は3人が若草園からそれぞれの就職先に出発しました。一番長い子どもで16年若草園で生活をしました。在園生からの贈る言葉と卒園生のお別れの言葉には、思わず涙がこぼれます。



### 誕生日会

子どもの誕生日には各ホームでお祝いします。



### 4.7 下田中学校入学式

今年は3人が入学しました。下田中学校は若草園のすぐ隣です。



### 2.20 スキー体験

小学生を中心に久万高原へスキーを体験しにいきました。



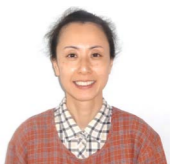
「若草園を支える会」のこいのぼりことしも「若草園を支える会」から寄付されたこいのぼりが元気に泳いでいます。



## 新人職員紹介

新しく若草園に加わった仲間たちの自己紹介です。

茶畑一恵



昨年よりベビールームで乳幼児の養育補助として、子ども達との関わり方を学ばせて頂いておりましたが、本年度からは、調理補助として食事の面から応援していく事になりました。それぞれ新しい環境に踏み出した子ども達に負けないよう、私もチャレンジ精神を持っていろいろな事に取り組み又、吸収していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

岩井愛



4月より若草園で働かせて頂いております。岩井と申しますが、12年ほど前にもお世話になっておりましたが、また仕事をさせてもらうことになりました。子どもたちや職員の人たちとたくさんコミュニケーションをとるながら、少しずつ信頼関係が築いていけるように努力したいと思っています。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、頑張りますのでよろしくお祈りいたします。

野地ちえみ



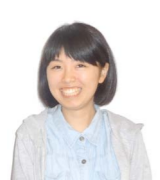
児童家庭支援センターで勤務させていただくことになりました。野地です。新人の中では最高齢ですが、ピカピカの一年生の気持ちで、私の持っているチカラを精一杯発揮していきます。職員として勤めさせていただくのは10年ぶりで、至らない所も多々あるとは思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

有友沙希



皆様初めまして、4月から働かせていただいております。有友と申します。子ども達と早く信頼関係を築いていけるように、学校で学んだことを生かして一生懸命頑張りたいと思います。分からないことがありご迷惑をかけることがあります。どうぞよろしくお願い致します。

石井希歩



4月より若草園で働かせて頂いております。石井と申します。慣れないことも多く、迷惑をかけることもたくさんあると思いますが、子ども達と信頼関係を築き、共に成長していきたいよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



## 退任のごあいさつ

社会福祉法人栄光会 前理事長 小椋茂昭



2016年(平成28)3月28日の任期満了をもって社会福祉法人「栄光会」児童養護施設「若草園」の理事長を退任いたしました。

振り返りますと2000年(H12)2月、青木浩元園長より声をかけていただき、3月29日より児童養護の専門的知識も法人運営の経験も皆無のわたしが理事・理事長に就任させていただき、「若草園」に暮らす子どもたち、職員と出逢うこととなりました。



の思いで開設されました。ところが、数年で運営困難となり、創設者が四十市竹島出身の佐竹音次郎氏であることを縁に、社会福祉法人「鎌倉保育園中村支部」として約30年間運営していただきました。その間、昭和の町村合併で譲り受けた築数十年の佐岡にあった古い役場建物から、現在地へ移転新築、施設整備の充実等に尽力して下さり、1996年(H8)、現法人栄光会が幡多児童相談所管内を基本エリアとして発足し、今に至る貴重な歴史がございます。

退任にあたり省みますとき、何よりも現場を知ること、子どもたちの日々の様子や職員の努力、苦勞、喜びを知ること、共有することを心がけ、できるだけ職員会や園の行事に参加させていただきました。その様とき、お誘い下さった青木浩元園長の退任、杵野園長の就任など慌ただしい中ではありませんでしたが、歡送迎会を「若草園のつどい」として開き、卒園生や旧職員をはじめ、関係者とのなごやかなひとときを過ごすことができました。下田に移転した園舎は太平洋に面し、潮風がふいて痛ん



育の父・佐竹音次郎の功績を広め顕彰する活動を継続的研修事業とする、として内容豊かに開催いたしました。とりわけ継続的研究顕彰することとして翌年竹島小学校を会場に開催した「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ講演会」は300余名の市民の集いとなり、四十市当局のご理解のもと「保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会」として発足し、大衆的な組織活動が始まりました。又、2001年(H13)スタートした若草園後援会は2008年(H20)「若草園を支える会」に発展的に改組し、毎年1000名をこえる地域の方々に支えていただき、本園の機関誌『わかさ』と共に『後援会だより』が年4回定期的に発行され、地域の人々に支えられる大きな役割を果たしています。若草園に入所する子どもたちは虐待、貧困、ひとり親、親の病気、多重債務等であり、子どもたちの傷は深く、抱えている問題も重く、職員は子どもたちのために心を研ぎ毎日一生懸命ケアを実践しています。子どもたちが回復し、未来が明るく元気で良俗的な生活をおくる様になる為には、職員との心のふれ合い、人と人との心のつながりが不可欠であります。又、そうした関係を築いていくには時間がかかります。子どもたちは安定した人間関係の中でゆっくりと回復していくのではないのでしょうか。

今年11月に任期満了となる民生児童委員としてのわたしの務めも36年目となります。2000年(H12)12月より13年間中村市(合併後は四十市)民児協会長、県連合会理事、会長として県下2500名を有する組織でありしも児童委員活動を強化する期間が重なり、職権を通して有機的な連携がとれた時期でもありました。少子化社会と言われる中、入所には至らずとも、抱きしめられ愛されるべき肉親から虐待をうけ、尊い命が奪われる痛ましい事件等が発生している現状を見ますときに、これからは栄光会は児童家庭支援センターをはじめ整備された機能と役割を存分に果たさねばなりません。

16年の在任中、青木浩、杵野一誠、福留久美施設長をはじめ見識豊かな栄光会理事監事の方々、ならびに関係機関のご理解とご支援に感謝申し上げますと共に、今後、一市民としての協力をお約束して退任のあいさつといたします。

本当にありがとうございました。

だスチールサツシの取り替え、目を刺す様なアンモニア臭の汲み取り便所から合併浄化槽への切り替え、周囲の樹木の伐採では明るくなった二階の窓から四十市川の河口を見て、子どもたちと「海があった」と声を上げたことが昨日のことに思い出されます。

2001年(H13)7月の杵野園長就任頃は、児童福祉法をはじめ社会福祉基礎構造改革が叫ばれた時期と重なります。児童養護施設のあり方も長年の経験を生かしつつ、子どもたち一人ひとりの個性尊重により、細かな気配りの中で養育を目ざすことが求められるようになりました。その中で話し合い協議を重ねた結果、利用者、子どもたちの成長は施設や学校教員とのかかわりのみでなく、地域の人たちと、地域のさまざまな人間関係を大切にすると立場から、園庭で開いていた夜店も「下田子ども夏祭り」として拡大して実施するようになり、地域に定着しました。また土佐中村一條太鼓をはじめ、地域のさまざまな方々との繋がりが強まってきました。

民生委員児童委員協議会が中心となり教育委員会のご理解のもとに2003年(H15)11月25日結成した「中村子ども支援ネットワーク」では、若草園も準備結成運営の中心的役割を果たし、今日の要保護児童地域対策協議会へと繋がってまいりました。

2006年(H18)の知事、地域福祉部副部長来園を機に中長期展望に立った園舎の改築が具体化し、2007年若草園創設50年の節目の年6月に起工式、翌年5月に落成の運びとなりました。新園舎は全国に先がけて運営して来たアドラムの家での経験も生かし、小舎制の導入やグループホーム、児童家庭支援センター、乳児の受け入れ設備、ショートステイ、一時保護のためのスペース、心理治療室まで備え、地域の子育てニーズに対応できる近代的な施設であり、数少ない完全小舎制の施設として生まれかわりました。高知県をはじめ地元市町村、後援会組織「若草園を支える会」をはじめとする地域の方々のあたたかいご支援に、心よりお礼申し上げます。



▲ 卒園式で3名の卒園生と共に

## 字を書く

若草園 事務 寺田知子

約三十年前、中国で学生生活を送っていた頃、ペンのインクを切らし慌ててボールペンを購入した。そのペンはインクの出が悪く、曲線の途中でかすれ、突然インクがダムになって落ちる代物だった。買い替えても同じで、当時の中国製ボールペンはストレスを覚える程質が悪かった。今思えばこの経験が私を筆記具・文房具マニアにしたのだと思う。

「弘法は筆を選ばず」。そもそも空海なら爪で足摺岬の岩に字を刻むほどの能筆だが、悪筆の私はペンを選んでしまう。なにせ日本製の文房具は海外で絶賛される水準があり、ボールペンのインク一つ取っても、油性、水性、低粘度油性、ゲル、エマルジョンと開発され、消せるボールペンでお馴染みのフリクションインクも出現した。「どこかに私と相性のいい究極の一本がないか」と、つい試したくなる。

近年の文具ブームも、パソコンが普及しても手書きには抗い難い魅力があるからだろう。最近購入した「復刻版宮澤賢治の手帳」の後半には、彼の筆跡がそのまま印刷されている。化学式や経文に交じり「雨ニモマケズ」もある。刻むような強い癖字に彼の葛藤と決意が伺えた。木陰に座って一字一字手帳に記す彼の姿すら想像でき、静かな感動を覚え手放せないでいる。手書き文字は単なる言葉以上の情熱を伝える。書くことも厭わないよう心がけたい。

ただしフリクションには注意が必要だ。「夏ノ暑サニモマケヌ」というわけにはいかず、高温で消える。履歴書をフリクションで書いて失敗した話も聞く。昨今の手書きはやはり筆を選ばねば、少し怖い。

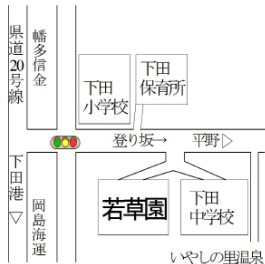


若草園  
ガーデンパーティー  
のごあんない

毎年この時季に園庭を開放してガーデンパーティーを開催しております。施設はともすれば閉鎖的になりがちですので、若草園の管理棟、子どもの住居棟ともに全面的にオープンにして実施しております。施設見学のよい機会にもなりますので、どうぞ来場ください。毎年、ボランティアの方々による出し物も充実してきております。入場無料です。



▲ 昨年の様子



平成27年度下期 ご寄付 (H27. 10. 1) (H28. 3. 31)  
皆様に心から感謝申し上げます。  
< 50音順・敬称略 >



**\*寄付金**  
エヌ・ハンデル有限会社 竹本浩子  
勝瀬防災  
神様との約束上映実行委員会  
カラオケ喫茶 蓄音機  
黒岩 将  
高知県共同募金会  
高知ペンテコステ教会  
日本キリスト改革派宿毛教会 酒井啓介  
さたけ小児科  
佐竹順子  
至誠大空の家  
庄野恵子  
土佐清水市主任児童委員連絡会  
西村和子  
パチコドットコム  
藤原啓正  
宮部水秋  
三好琴希  
山本琴一  
匿名希望  
⇒ 10人 21口 ¥742,798

大川原美樹 (いわき市)  
思いやり活動まるごみ薩摩本部実行委員会  
兼松 仁  
杵野一誠  
高知県スポーツ用品小売商協同組合  
(財)高知県職員互助会  
斎藤正七郎 (桐生市)  
サニーフーズ  
J A つがるにしきた  
四万十川こども演劇祭実行委員会  
(株)出版文化社 浅田厚志  
曾根商店  
(有)ダスカジャパン  
田辺恵美子  
地方紙正月連企画  
寺田祐子  
とんぼ薬局 豊島幸枝  
中村青年会議所  
日本鏡餅組合  
矢野川研  
山下整形  
楽天(株)  
⇒ 26人 27口 時価総額 ¥238,200

**\*寄付物品**  
青木 浩  
(有)あぜち食品  
(株)安納スウィーツファーム  
石川弘美  
魚富

**\*ボランティア**  
高知保護観察所⇒機関誌発送作業  
(株)日本公文教育研究会⇒運営指導  
宮脇さなえ⇒機関誌No. 35 挿絵  
矢野川研⇒児童学習指導

▶このコーナーは半年ごとに報告させていただく事になりました。

若草園を支える会のご案内

若草園には「若草園を支える会」という後援会があり、子どものための寄付金を受け付け、若草園の様子をお伝えしております。社会福祉法人栄光会本体でも寄付金の受付はしておりますが、「若草園を支える会」では特に子どもの支援にシフトして、今、園にいる子どもや、園から巣立った子どもの支援を中心に運営されております。毎年この時季に「若草園を支える会」の総会を開催しております。今年も日程の都合上、**5月14日(土曜日)の午後2時から若草園**で開催することになりました。ご興味のある方はご参加下さい。また、「若草園を支える会」では随時、会員を募集しております。年会費は1口1千円です。会員には機関誌の他に会報をお届けいたします。お問い合わせは電話、または若草園ホームページのメールでお寄せ下さい。

編集後記

先日徳島生まれ中村育ちの中脇初枝原作の映画『きみはいい子』が四万十市で上映され、トークショーも行われた。彼女は中村高校在学中に坊ちゃん文学賞を受賞し小説家デビューした。原作は同名の小説で、2008年南国市での児童虐待死事件を受けて執筆する決意をしたと話されていた。児童福祉の現状をよく描かれた作品なので、原作でも映画でもぜひご覧になって頂きたい。▼よくドキュメンタリーがフィクションかと分類されるが、この作品は現実起こった内容だった。映画ともなればそれなりの結末があり、ハッピーエンドだったりそうでない場合もあるが、何らかのオチはある。しかし、この映画にはそれが無い。しかし、解決に向けて何が動き出したとの印象は受ける。もしかしたら解決しないかも知れない。それでも、これから何が繋がっていくことは感じさせられた。▼今回、小椋前理事長の挨拶文を掲載している。長いので全部は読めない方もあると思う。ぜひ、5頁上段3段落目だけでも読んで頂きたい。この作品にどうしてオチがないかを知る手がかりになるだろう。(せと)